

岩田とも子の政治活動

facebook
やっています!



11/11 建設常任委員会管内視察／阿蘇大橋、国道57号線元線 北側ルート、合志市都市計画を視察しました。熊本地震からの復興を感じました。



11/15 拉致被害者を救う署名活動／横田めぐみさんが拉致されて43年になりました。たくさんの署名が集まりました。



11/20 県政報告会／日本熊森協会の森山会長を迎え、山を守る活動について学習会を開きました。



11/20 瀬戸石ダムと坂本町の被災の状況を視察しました。



11/26 人吉市で被災状況とダムに反対されている方々からご意見を聞きました。



12/19 「定時制・通信制の灯を消すな」八代大会に参加しました。現役学生や卒業生からの要望を聞くことができました。

岩田とも子

県議会レポート

発行所／〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
 連絡先／立憲民主連合 TEL:096-333-2644
 FAX:096-387-5223
 E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
 HP : http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/

NO.
23

ご挨拶

2020年は、新型コロナ対策による自粛で、日常が大きく変化してしまい、戸惑いながら過ぎていったという感じでした。

第3波が押し寄せた12月からは、社会経済に甚大な影響を及ぼしています。

また、7月豪雨での甚大な被害を受けて、蒲島知事はダムによらない治水対策をダムによる治水対策に転換し、2020年後半の県議会は球磨川治水問題が中心でした。

2021年は丑年。丑年は、「我慢(耐える)」「これ

から発展する前触れ(芽が出る)」という年になると言われています。皆さんどうでしょうか。

さて、11月定例議会は11月25日から12月15日までの会期21日間で行われ、一般質問には私を含め12名の議員が登壇し論議を交わしました。

今議会では、一般会計がコロナウイルス感染症対策と豪雨災害関連を主として約218億円の増額補正となり、今年度の一般会計予算総額は1兆830億円となりました。このほか、条例、工事関係、専決処分など75議案が可決されました。

11月定例議会一般質問報告

12月1日に、9回目の一般質問に立ちました。皆さんから寄せられた声をもとに、以下のような質問をしました。



1 教員の働き方改革(公務災害を防ぐ取り組み)について

岩田
9年前に脳幹出血で倒られた元教員が後遺障

害を負ったのは公務による過重な負荷が原因だったとして、地方公務員災害補償基金熊本県支部(支部長:蒲島知事)に公務災害認定の請求をしたが、同支部は請求を認めず、最終的には福岡高等裁判所が20年9月25日に公務災害に当たるとする判決を下し、この判決が確定した。裁判で公務災害と認められた結果を知事と教育長はどう捉えているのか。

知事

厳粛に受け止めている。ご本人ご家族のことを思うと心が痛む。県教委市町村教委が一丸となってこのような公務災害を起こさないようお願いをした。さらなる職場環境の改善に取り組んでいく。

教育長

管理職に対し、時間外在校等時間の上限時間の遵守のみを求めたり、虚偽の時間の記録をさせたりすることが決して無いよう指導している。今後同様の公務災害が起きないように働き方改革推進プランの着実な実施に努める。

岩田

補償基金熊本県支部がもっとしっかりと自宅での持ち帰り仕事などを被災者の立場に立って、審査していれば9年も認定を待つことはなかった!こんなことを繰り返してはならない。

2 障害者活躍推進計画について

岩田

障害者雇用水増し問題がおこり、熊本県でも大変な問題となった。厚労省は障害者活躍推進計画を2020年4月に作成するようにと通知を出した。熊本県は作成がまだであるが、策定時期とその特徴は。

総務部長

障害者雇用率は2.8%。障害者活躍推進計画の策定にあたっては障害のある職員へのアンケートや意見交換会などを行いしっかりと把握し21年1月を目途に計画を策定・公表していく。

岩田

全国で熊本県の策定が最も遅れているので、合理的配慮が行き届き、仕事が定着し、当事者の満足感が得られる計画の策定を望む。

3 202030女性活躍推進の今後について

岩田

『あらゆる分野において、2020年までに、指導的な地位に女性が占める割合が少なくとも30%になるように期待する』という政府目標は達成しなかった。世界が加速度的に進んでいるのにとても遅れたものになっている。熊本県知事事務局において女性役付き職員の割合目標の24.6%はまだ未達成である。女性活躍推進についての今後の取り組みを知事、教育長、県警本部長に伺う。

知事

女性の活躍は多様性に富んだ活力のある社会の実現に向けて不可欠である。役付き職員は知事就任時4.2%から現在は11.9%となった。しかし、不十分。次の第5次計画では率先して取り組みを進める。

教育長

管理職に占める女性の割合は、県立学校目標18%に対し18.1% 小学校は目標20%に対し19.4% 中学校は目標10%に対し8.8% 働き方改革や両立支援の観点からも取り組む。

警察本部長

アクションプラン策定時の6.1%から8.9%に上昇。21年4月には目標の9%に達する見込み。23年には10%程度とする成果目標が掲げられている。女性警察官採用拡大が組織力強化となると考える。

岩田

目標値はもっと高くして、加速度をつけて取り組むべき。

4 新型コロナ禍でのシングルマザー等への精神的、経済的支援について

岩田

コロナ禍の中での母子世帯の悲痛な声がある。食料、お金、wi-fi環境、精神的ストレスなど支援は必要である。

また、DV等の相談件数が増加している。それぞれの課題についての熊本県の状況と取り組みについて伺う。

健康福祉部長

今年5月のアンケート結果で新型コロナの感染拡大がひとり親世帯の家計を圧迫していることがわかった。さらなる支援策として県独自の給付金5万円の支給、食材配布等の支援事業への助成も行なっている。DVの相談件数は増加や深刻化が懸念される。全国共通ダイヤル『#8008』の周知に取り組む。

岩田

シングルマザーの家庭状況は厳しいものがあり、支援を広げるとともに、情報を届けることが重要。

5 産後ケアの充実について

岩田

妊産婦の1年未満の死因は自死であるというデータが国立生育医療研究センターから発表された。コロナ禍によって産後ケアもできなかった時期もあるが、市町村事業でもある産後ケア事業の実施状況はどうか。また、県の今後の対応は。

健康福祉部長

産前産後の母親が孤立しないように地域で支えることが重要である。コロナ禍でより強い不安を抱く状況が続いている。県内では7市町村が国庫補助を活用し実施している。独自で訪問などを行なっている市町村もある。産後うつ早期発見・支援を行うシステムはある。

子育て包括支援センターの役割が重要だと考える。今年度は30市町村が設置予定である。

岩田

母親への支援があるという情報が隅々まで届くことが重要。気軽に『助けて』と言える社会環境の整備が必要。

委員会報告

私が所属する建設常任委員会では災害復旧の補正予算の審議が主に行われました。球磨川に溜まった土砂は人吉市で700万㎡だそうです。その土砂を来年の梅雨前までには取り去らねばなりません。土砂の行方が確定したところから進めるとのこと。

また、豪雨災害復旧復興プランの案が示されました。プランのイラストには市房ダムが描いてあり、このダムが川辺川ダムと勘違いされるのでは、という意見や、消した方が良いのではという意見がありましたが、私は市房ダムは現存しており、そのままよいと主張しました。(結果的には、既存ダムとしてそのままイラストは残されました。)

